

2022 年度 研究所活動報告

研究会

「フランスの女男職業平等政策」

2022年7月8日、日本大学法学部の神尾真知子特任教授をお招きして、研究会を開催いたしました。

フランスにおける労働政策の変遷や、家族政策の現状など、大変充実したお話をいただきました。フランスは過去には日本と類似した状況もありながら、その後変革を行ってきた等、大変示唆に富む内容でした。

フロアからの質疑応答では、日本への応用といった点などの議論が交わされ、惜しまれつつの閉会となりました。

研究会

「女性のリカレント教育とコロナ禍が照らし出した新たな状況」

2022年9月22日、東洋大学の矢口悦子学長をお招きして、研究会を開催いたしました。

リカレント教育にみられる3つの型をはじめ、大学におけるリカレント教育像、日本と欧州におけるリカレント教育の歴史などを整理したうえで、欧州で実施されている女性の「再出発」のための多様な教育機会についてお話をいただきました。多くの成人学生が学ぶ英国における大学の様子やリカレント教育をめぐる女性に関する課題など、大変参考となる内容でした。

参加者との質疑応答では、様々な議論が展開され、リカレント教育の可能性について視野が広がるものとなりました。

研究報告会

「日本における女性音楽家の職業生活に関する調査報告」

2022年12月16日、現代女性キャリア研究所インターンシップ生のセビンディク・バステ氏（10月～約2ヶ月間滞在）による研究報告会を開催いたしました。

バステ氏が、当研究所インターンシップ期間中に行った「日本における女性音楽家の職業生活に関する調査」（アンケート調査及びインタビュー調査）の結果をもとに、女性音楽家のキャリア形成の状況と直面する課題について報告いただきました。フロアからも質問や感想などが寄せられ、大変有意義な研究会となりました。

研究会

「Families in Israel : Between post-modernity and conservatism」

2022年3月8日、テルアビブ大学（Tel Aviv University）のダリッド・ブロッシュ先生（Dr. Dalit Bloch）をお招きして研究会を開催いたしました。

グリッド・ブロッシュ先生からは、イスラエルにおける様々な分断の状況やLGBT、女性労働の状況などをご講演いただきました。日本とも類似した課題もみられるなど、大変示唆に富む内容となりました。

本学文学部の高梨博子教授に同時通訳をいただき、フロアとの質疑も円滑に行われ、大変有意義な研究会となりました。

研究会

「子どもを持つ就業者のコロナ禍の家事・育児時間と働き方」

2022年3月16日、リクルートワークス研究所の大谷碧氏をお迎えして、研究会を開催いたしました。

リクルートワークス研究所で行われた2つのアンケート調査から、コロナ禍の家事や育児への影響やテレワークに関する分析などについてご講演いただきました。

質疑応答の際には、活発な意見交換も行われ、意義深い研究会となりました。

ワークショップ

社会調査に役立つ統計分析：SPSS ワークショップ

現代女性キャリア研究所では、2011年度から2018年度まで、毎年学内の学生・教職員を対象として「社会調査に役立つ統計分析：SPSS ワークショップ」を開催していましたが、残念ながら2019年度及び2020年度はコロナ禍により開催を見送りました。2021年度からは、参加可能人数を減らしたり、間仕切り（パーティション）を設置するなど、対策を十分に取りながら、メディアセンターのご協力も得て、開催いたしました。

講師を務めていただいているニッセイ基礎研究所の金明中先生には、SPSS 基本操作からデータの加工などの基礎知識、統計分析の理解からクロス集計、回帰分析など基礎編と応用編を計3日（2023年3月8日（水）、の基礎編と9日（木）、10日（金）の応用編）にわたって実践的学習を含んだ講義をいただきました。参加後アンケートの満足度も高く、本年度も大変好評なワークショップとなりました。

